

戸塚・大久保地区中学校	平成15年11月6日
適正配置協議会だより	NO.5

去る10月24日戸山中学校で第5回の協議会が開催されました。はじめに前回の合意事項を確認し、教育委員会に付議する計画素案について、委員の皆さんの了承を得ました。この素案は11月7日の定例教育委員会で第五次・学校適正配置計画(案)として議決され、その計画案に基づいて地域説明会を行い、12月5日の定例教育委員会で正式に計画決定される予定です。

その後校名の決め方についての協議に移り、協議会内部だけで考えるのではなく、生徒やPTA、地域関係者の皆さんのご意見を参考にさせていただくため、これらの方々から校名案を募集することになりました。

次に、統合新校のビジョンについて協議することとなりましたが、教育委員会として、どんなことがどこまで可能なのか先に示してほしいとの意見や、仮校舎の時と、新校舎の時とを分けて考えて、特に新校舎に入れない生徒のことを第一に考えてほしいなどの意見が出されました。

次に統合の組合せによって2つの部会に分かれ、戸塚一中・戸山中の部会長に木村戸山中PTA会長を、東戸山中・大久保中の部会長に渡邊大久保中PTA会長を選出しました。次回は11月下旬開催の予定です。

協議事項	主 な 内 容	
第五次・ 学校適正配置計画 (素案) (事務局説明)	1 統 合	戸塚第一中学校と戸山中学校、東戸山中学校と大久保中学校をそれぞれ統合する。
	2 実施時期	統合の実施時期は、平成17年4月1日とする。
	3 統合新校の校地	戸塚第一中学校と大久保中学校の校地に統合新校舎を建設する。統合新校舎が建設されるまでは、戸山中学校と東戸山中学校を仮校舎として統合新校を設置する。
	4 校 名	新校の名称は適正配置協議会の検討結果を踏まえ、教育委員会が決定する。
	5 通学区域	戸塚第一中学校と戸山中学校、東戸山中学校と大久保中学校の通学区域を合わせて、それぞれ一通学区域とする。
	6 施設整備	新校設置にあたっては、仮校舎に必要な整備を行なう。
校名について	検 討 方 法	協議会内部だけで考えるのではなく、児童生徒、PTA、地域関係者などから校名案を募集し、応募作を参考に協議会で検討する。
	対 象 者	募集対象者は関係小中学校の児童生徒、PTA、地域関係者(各校の入学式や卒業式の招待者)とする。
	募集の周知	各校から児童生徒に応募用紙を配付し、地域関係者には郵送する。
	応募方法	各校に設置した回収ボックスに応募用紙を入れる。
統合新校のビジョン	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジョンの協議を始める前に、教育委員会として予算的な制約など、出来ることと出来ないことをある程度示してほしい。 ・仮校舎だけで卒業してしまう子どもたちのことを第一に考えていきたい。教委も十分配慮する。 	

(教育委員会より) 地域説明会を 開催します	日 時	場 所
	11月22日(土) 15:00～	戸 塚 第 一 中 学 校 体 育 館
	11月22日(土) 19:00～	大 久 保 中 学 校 体 育 館
	11月26日(水) 14:00～	東 戸 山 中 学 校 体 育 館
	11月27日(木) 19:00～	戸 山 中 学 校 体 育 館

【事務局】 教育環境整備課 TEL (3341) 4358 FAX (3341) 9955

E-mail kyoikukankyo01@city.shinjuku.tokyo.jp

戸塚・大久保地区中学校 適正配置協議会だより

平成15年12月8日

NO.6

去る12月1日コスミックセンターで第6回の協議会が開催されました。はじめに事務局から地域説明会の報告と、教育委員会に提案する、第五次学校適正配置計画(案)についての説明などがあり、その後部会に分かれて校名について協議されました。前号でお知らせした校名案募集については、両校合わせて108案、334通の応募がありました(結果は下記のとおりです)。この結果は各委員に事前に送付され、各自検討のうえでご出席いただきました。

応募された校名を参考として協議の結果、戸塚一中と戸山中の新校の校名は『西早稲田中学校』、東戸山中と大久保中の新校の校名は『新宿中学校』に合意されました。

今後この校名案を教育委員会に諮り、第五次学校適正配置計画が正式に決定される見込みです。

協議事項	主な内容		
第五次・ 学校適正配置計画 (案)	統 合	戸塚第一中学校と戸山中学校、東戸山中学校と大久保中学校を統合する。	
	実施時期	統合の実施時期は、平成17年4月1日とする。	
	統合新校の位置	戸塚第一中学校と大久保中学校の校地に新校舎を建設する。	
	仮校舎の整備	戸山中学校と東戸山中学校を、新校舎建設期間中の仮校舎として必要な整備をする。	
	校 名	戸塚第一中学校と戸山中学校の統合新校の名称は『新宿区立〇〇〇中学校』、東戸山中学校と大久保中学校の統合新校の名称は『新宿区立〇〇〇中学校』とする。	
	通学区域	統合新校の各々の通学区域は、戸塚第一中学校と戸山中学校の通学区域を併せた区域、東戸山中学校と大久保中学校の通学区域を併せた区域とする。	
新校校名案	新 校	合意された校名案	理 由
	戸塚一中と戸山中 の 新 校	西早稲田中学校	近くに西早稲田の町名があり、建設中の地下鉄13号線の西早稲田(仮称)駅が近い。
	東戸山中と大久保中 の 新 校	新宿中学校	両校とも新宿6,7丁目にあり、新宿区のほぼ中央にある。
(事務局から) 校名募集応募状況	新 校	応 募 数	主 な 校 名 案
	戸塚一中と戸山中 の 新 校	74案 240通	西早稲田、戸塚山、新宿、諏訪、諏訪ノ森、高田馬場、山吹 など
	東戸山中と大久保中 の 新 校	34案 94通	新宿、東新宿、東大久保、天神、新宿東 など

【事務局】 教育環境整備課

TEL (3341) 4358

FAX (3341) 9955

E-mail kyoikukankyo01@city.shinjuku.tokyo.jp

平成 16 年 2 月 9 日

四谷地区三小学校 統合協議会だより

No. 1

平成 11 年度から進められてきた、旧四谷第一小学校、四谷第三小学校、四谷第四小学校の 3 校の統合について、このほど四谷第四小学校 PTA から統合合意文書が提出されました。これにより 3 校の合意が整い、1 月 9 日の教育委員会で 3 校を統合する第六次・学校適正配置計画の基本方針が決定されました。

この方針に基づき、3 校の関係者からなる『四谷地区三小学校統合協議会』が設置され、2 月 4 日（水）18 時より四谷第三小学校会議室において、第 1 回の協議会が開催されました。

はじめに教育長から各委員に委嘱状が手渡され、委員の自己紹介と資料説明の後、会長には鈴木勉四谷地区町会連合会会長が、副会長に今野教育委員会事務局次長が選任されました。また司会進行役の座長は 3 校の PTA 代表の方が持ち回りで担当することになりました。

第六次・学校適正配置計画の基本方針と、協議会の構成、協議内容は下記のとおりです。次回は 2 月 16 日（月）の午後、四谷第四小学校で開催の予定です。

第六次・学校適正配置計画の基本方針 （1 月 9 日教育委員会決定）

- 1 四谷第三小学校、四谷第四小学校、旧四谷第一小学校を統合し、統合新校を設置する。
- 2 統合新校の位置については、上記 3 校のいずれかとする。
- 3 統合新校を建設する。
- 4 3 校の統合に関する事項を検討するために、3 校の関係者からなる統合協議会を設置する。

四谷地区三小学校統合協議会

旧四谷第一小学校関係者

PTA(2 名)、同窓会、町会代表、元 PTA

四谷第三小学校関係者

PTA(2 名)、幼稚園 PTA、同窓会、町会代表、元 PTA、校長、教頭

四谷第四小学校関係者

PTA(2 名)、幼稚園 PTA、同窓会、町会代表、元 PTA、校長、教頭

四谷地区町会連合会会長

教育委員会事務局次長

（計 23 名）

協議内容（主な発言内容）

- ・子供たちのために早く良い教育環境を作ってほしい。
- ・新しい教育に適した校舎が新築されるのは喜ばしい。
- ・学校選択制で三小、四小が敬遠されないよう、早く統合の先行きが見えるようにしてほしい。
- ・統合新校に幼稚園（4,5 歳児）が併設されると聞いて安心した。
- ・各校の敷地にどんな建物が建てられるのか示してほしい。
- ・次回に統合時期等を決めたい。

四谷地区三小学校 統合協議会だより

平成 16 年 2 月 24 日

No. 2

2 月 16 日（月）14 時 30 分より四谷第四小学校会議室において、第 2 回の協議会が開催されました。

事務局の資料説明の後、田中座長の発意により、旧四谷第一小学校、四谷第三小学校、四谷第四小学校のそれぞれの立場から、統合協議会に至るまでの経緯や、新校への期待について、それぞれの代表の方から発言していただきました。一日も早く新校を建ててほしいという切実な気持ちや、委員の方々が種々の事情の中でここまで進んで来られたことについて、互いに意見を交換しました。

その後、前回に引き続き、新校の校地、統合の実施時期、校名について活発に意見が交わされました。主な発言内容は下記のとおりです。

次回は 2 月 26 日（木）の 14 時 30 分より、四谷第三小学校で開催の予定です。

協議事項	主な発言内容
新校校地	<ul style="list-style-type: none">・建築規制だけでなく、それぞれの校地にどんな学校が建てられるのか、青写真を示してほしい。・通学距離だけでなく、地域の中での学校の役割も考慮して、どんな学校が建てられるかを考えて決めてほしい。・三小は 3 校の統合で複数学級の学校を作るために、校地は一小がよいと PTA で決議している。地域の方々も任せてくれている。・校庭の広い学校を作るには四小がよい。・次回までに事務局が資料を用意する。
実施時期	<ul style="list-style-type: none">・19 年度にしたい。なるべく早いほうがよい。子ども達のためにこだわりを捨てて、早く決めてほしい。・一小が校地なら 19 年度に出来るが、三小や四小だと 20 年度になる。校地が決まらないと決められない。
校名	<ul style="list-style-type: none">・四谷小学校がよい。・ひらがなで『よつや小学校』がよいのではないか。・四谷は歴史のある地名。やはり漢字がいいと思う。全国に発信できるよい名前。四谷六小があっても問題ないのではないか。

【事務局】 新宿区教育委員会事務局 教育環境整備課 Tel 3341-4358
Fax 3341-9955 E-mail kyoikukankyo01@city.shinjuku.tokyo.jp

四谷地区三小学校 統合協議会だより

平成 16 年 3 月 29 日

No. 5

3 月 22 日(月)19 時より四谷第三小学校で第 5 回の協議会が開催されました。

今回は、事務局が校地案のタタキ台として作成した、一小、四小それぞれを校地とした場合の比較表を参考として、さらに突っ込んだ協議が行われました。

前回同様に、各校 PTA からなるべく早い統合を求める意見が、また両校長先生から、落ち着いた教育環境をつくるために、一日でも早く統合の大枠を決定してほしい心情が切々と訴えられました。しかし地域関係者の反論もあり、今回も校地と実施時期の決定には至りませんでした。

結局座長の提案により、統合協議会の方向として 19 年度に一小校地での統合を目指す方針が確認され、次回以降もこの方針への全体の合意を目指していくことになりました。

主な発言内容は下記のとおりです。次回は 4 月 7 日(水)の 19 時より、四谷第四小学校で開催の予定です。

主 な 発 言 内 容

- ・ 教委としては旧一小が校地としてふさわしいのではないかと考えている。また時期は大方の皆さんのご希望どおり、なるべく早く、19 年度が良いと考えている。
- ・ 19 年度案は教委の主導ではあるが妥当性がある。学校選択制のなかで今の状態が続けば子どもたちはますます逃げていく。早く方針を決めて保護者に説明できるようになることが是非とも必要。
- ・ 四小 PTA としては賛否両論あるが、多数意見として校地は一小でやむを得ないという結論になっている。四小を校地にして 3 年間一小的の仮校舎に通うより、最後の 3 年間に四小に通わせたい。
- ・ 四小 PTA は子どもたちのために苦渋の選択をした。統合協議会に参加した以上良い方向に進んでいきたい。PTA 内部では跡地の活用について、教委から明確に方針を示してほしいという意見が出ている。
- ・ PTA が圧倒的多数で統合に合意したのは、保護者たちが四小が吸収されてしまう恐れを抱いている証拠。校長としても早く統合の見通しをつけて説明できるよう望んでいる。
- ・ いつまでも方針が決まらなければ保護者に見放されてしまう。会社がつぶれそうなものにこのままでいいよと言っているようなもの。
- ・ 今日は統合協議会としての方向性だけでも決定したい。大方の意見は 19 年度に一小校地。その方向での合意を目指したい。

四谷地区三小学校 統合協議会だより

平成 16 年 4 月 14 日

No. 6

4月7日(水)19時より四谷第四小学校で第6回の協議会が開催されました。

教育委員会事務局は、協議会の基本方針が確認されたことをうけ、ほぼ全体の合意が成立したものと判断し、下記のとおり「第六次・学校適正配置計画(案)素案」を作成し、協議会に提示しました。

この素案についてさらに協議を進めた結果、校地についてなかなか納得されない委員もおられましたが、最終的には統合協議会として素案を了承するという結論になりました。

この結論に基づき次回の教育委員会で「第六次・学校適正配置計画(案)」として決定を受け、地域説明会の開催と統合協議会への報告を経て、5月7日の定例教育委員会で計画決定される予定です。

素案と主な発言内容は下記のとおりです。次回は4月27日(火)の19時より、四谷第三小学校で開催の予定です。

第六次・学校適正配置計画(案)素案

(統合)

1 四谷第三小学校、四谷第四小学校及び旧四谷第一小学校を統合する。

(実施時期)

2 統合の実施時期は、平成19年4月1日とする。

(統合新校の位置)

3 統合新校は旧四谷第一小学校の校地に建設する。

(校名)

4 統合新校の校名は「新宿区立四谷小学校」とする。

(通学区域)

5 四谷第三小学校と四谷第四小学校の通学区域を併せて一通学区域とする。

主 な 発 言 内 容

- ・ 素案は前回確認された方針と同じ内容。PTAは複数学級の学校をつくるのが大前提。地域と子どもを天秤にはかけられないが、子どもたちのために素案を受け入れたい。
- ・ 地域があつての子どもたちではなく、子どもたちがあつてこそその地域。このままでは地域から子どもがいなくなってしまう。それから統合しようとしても遅すぎる。
- ・ 四小や三小の建物を地域の施設として活用できるように要望したい。
- ・ 跡地についてどんな活用をしていくのか、教委の考えを地域に示してほしい。
- ・ 教委は跡地について皆さんからご要望があれば、誠意をもって区長部局に伝えるなど、できるだけのことをしていく。

【事務局】新宿区教育委員会事務局 教育環境整備課 〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1
Tel 5273-3107 Fax 5273-3510 E-mail kyoikukankyo@city.shinjuku.tokyo.jp

平成16年4月8日

統合新校設置推進協議会だより

発行: 統合新校設置推進協議会事務局 No. 8

「統合新校設置推進協議会だより」は、毎回の協議会における協議経過等をお知らせするものです。
統合新校の基本的事項に関する

協議結果を取りまとめました

第8回の統合新校設置推進協議会が、3月26日（金）午後7時から開催されました。

平成15年10月29日に第1回の協議会を開催して以来、協議会では半年間にわたって新設中学校の位置や移行期間中の対応策などの基本的事項について論議を重ねてきました。今回は、前回までに予定していた協議事項について意見のとりまとめを終えたことから、協議結果のまとめを議題として協議を行いました。

協議の結果、「統合新校の基本的事項に関する協議結果について」として、これまでの成果を取りまとめ、統合新校設置推進協議会の山崎 登会長（中目黒住区住民会議代表）から教育長に報告を行いました。

「統合新校の基本的事項に関する協議結果について」の主な内容

・ 新校の設置の時期及び場所

18年4月に第二中・第五中・第六中学校の3校を統合して新校とし、現在の第六中学校校舎を仮校舎とし、20年4月に新校舎（現在の第五中学校の位置）へ移ることが妥当です。

・ 通学区域

現在の第二中学校・第五中学校・第六中学校の通学区域を合わせたものとするのが妥当です。なお、油面小学校の通学区域が第五中学校と第四中学校の通学区域に分かれている現状への対応については、別途、関係者間で協議を行っていくことを求めます。

・ 校名の選定

16年度の早い時期に統合新校の整備方針が決定次第、全区的に校名を公募し、校名選定委員会（仮称）が選定する方法が妥当です。

・ 校章・校旗・校歌の検討

校名の決定後、3校が主体となって速やかに検討に入ることが妥当です。

・ 標準服の検討

標準服の教育的意味合いや、保護者の経済的負担等の観点から3校が主体となって検討を進める

ことが適当です。

- ・ 3校の歴史的な資料の保存について
3校の歴史的な資料の保存は必要であり、3校が主体となって検討を進めることが適当です。
- ・ 統合にあたって配慮すべき事項
総合的な学習の時間における合同授業や部活動の合同実施、また新校舎移転までの間の生徒の通学方法への配慮などを要望します。
- ・ 統合新校への期待事項

協議会において各委員から寄せられた統合新校に関する意見・要望を参考にして、統合新校の教育計画や施設計画の検討を行い、引き続き関係小・中学校の保護者や教員の声を十分に把握することに努めるよう要望します。

教育長のあいさつの概要

お忙しい中、8回にわたって協議をいただきありがとうございました。

本日いただいた協議結果のまとめを受けて、4月中旬頃に統合新校の整備方針(案)をまとめ、関係者の皆さんに説明しながら6月には整備方針として確定していきたいと考えております。

協議会委員の任期は、統合新校が開校するまでとなっておりますので、今後は、協議をいただく事項が発生した場合あるいは準備状況の節目ごとに開催をしていただくこととなりますので、よろしくをお願いします。

山崎会長のあいさつの概要

皆さんから様々なご意見をいただき、ようやく本日のまとめができました。正月明けに急遽2回にわたって協議会を開催するなど、ご協力ありがとうございました。

今後も、協議会委員の学校・保護者・教育委員会が一体となって統合新校の準備をしていきたいと思えます。

今後の協議会の予定

当初予定していた協議事項についての協議が終了したため、当面、協議会の開催予定はありません。今後は、統合新校が開校するまでの間、必要に応じて順次開催していく予定です。

学校統合だより 第6号



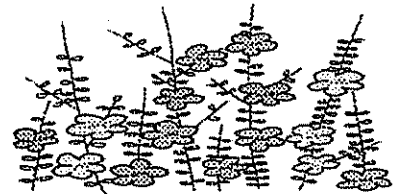
(14年3月4日発行) № 139040

事務局（問い合わせ先） 世田谷区教育委員会事務局学校適正配置担当課
（電話 5432-2745 FAX 5432-3039）

〔「学校統合だより」は、統合に関する情報等を保護者や地域の皆さんにお知らせするために発行しています。お気軽にご意見を事務局までお寄せください。〕

新校名の募集結果と検討状況

新校の校名募集に、331通の応募がありました。
たくさんのご応募ありがとうございました。



新校準備会第1部会（2/21開催）において、募集結果を参考に候補校名について検討を行いました。両校が同じ意識で統合することを考え、現行の校名は使用しないことを基本にしています。また、募集結果や部会での検討状況を皆さんにお知らせし、さらに意見を求めることと致しました。

皆さんからのご意見等は、3月28日開催予定の新校準備会に反映していきたいと考えています。ぜひ、お近くの新校準備会委員もしくは事務局までご意見をお寄せください。また、準備会に参加されたい方は、会場の都合もありますので、事前に事務局までご連絡ください。

■ 新校準備会第1部会で選考した候補校名

候補校名	主な理由や新校への願いなど
みしゅく 三 宿	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新校の所在地は、かつて「三宿町」であり、近くに「三宿」という国道246号線交差点やバス停がある。 ・ 学校、保護者、地域の三つの心が宿る学校となって欲しい。
いけのほし 池 ノ 星	<ul style="list-style-type: none"> ・ 両校の名前を残す。（池星、星ノ池の応募名をもとに） ・ 清らかな水池尻より湧き出で、新星の如く大空に明るく輝き、清く明るく前途ある青少年・希望の星が生まれる事を祈る。
そうえい 創 瑛	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「創」は創り出す、「瑛」は玉のひかりの意であり、新校として生まれ変わり、光輝く生徒であって欲しい。
へいせい 平 成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成」になって世田谷区ではじめての区立中学校となる。 ・ 新しい時代を担う生徒が育って欲しい。

募集結果については、2～3面に掲載しています。

新校の校名募集について

《募集結果》

応募件数 331 件 (児童・生徒 254人、保護者 23人、卒業生 5人、一般 8人、不明 37人)
 応募点数 147 点

応募件数	応募名称 (よみ)	理由及び願いなど
35 件	三宿 (みしゆく)	<ul style="list-style-type: none"> 旧来よりある地名であり、地域的に近く、対外的認知度が高い 交差点やバス停の名もありわかりやすい 新校が三宿通りにあり、両校ともに三宿に近い 今までの学校名と共通することなく新しい学校のイメージとして良い シンプルに地名でよい、地名と関係がない名前は伝統・格式がない気がする 学校・保護者・地域社会の三つの心が宿る学校となって欲しい 池尻又は新星の名はつけないほうがよい
32 件	新星 (しんせい)	<ul style="list-style-type: none"> 新星中の校舎を使うので そのまま残して欲しい 地名での学校名が多い中、新星中は珍しくまたかわいい 地域の名前でないところがいい 新しい感じがするので
26 件	池星 (いけぼし)	<ul style="list-style-type: none"> 両校の名をとって 地名などはありきたりだから
13 件	新池 (しんいけ)	<ul style="list-style-type: none"> 両校の名をとって 新しく協力したということで両校の名前をとった
10 件	池尻 (いけじり)	<ul style="list-style-type: none"> 母校の名を残したい 校舎は新星中だからせめて名前だけでも残したい
	世田谷 (せたがや)	<ul style="list-style-type: none"> 大きい感じの名前で、世田谷の中心になれるように 2つの学校を足して割れないので
7 件	新池尻 (しんいけじり)	<ul style="list-style-type: none"> 池尻地区で新しく生まれ変わって欲しい 池尻エリアの新しい中学校で両校から一語ずつ拝借した
	新星池尻 (しんせいいけじり)	<ul style="list-style-type: none"> 両校の名をとって、公平だから 学校の名前が跡形もなく消えてしまうのは寂しい、少しでもいいから残して欲しい
5 件	赤星 (あかぼし)	<ul style="list-style-type: none"> 太陽の光がサンサンと照りつけるがっこうであるように、との意味を込めて
	池新 (いけしん)	<ul style="list-style-type: none"> 両校の名をとって
	新新星 (しんしんせい)	<ul style="list-style-type: none"> 新星中に来るから
	新生 (しんせい)	<ul style="list-style-type: none"> 2つの学校が1つになり、新しく生まれ変わるので 新しくなることで別のスタートをして欲しい
4 件	希望 (きぼう)	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりに希望・夢を持って欲しいから 生徒みんなが希望をもって生活できるように
	玉林 (ぎょりん)	
	青春 (せいしゅん)	<ul style="list-style-type: none"> 中学から青春を体験するから
	NEW新星 (にゅーしんせい)	

応募件数	応募名称 (よみ)	理由及び願いなど		応募名称 (よみ)	理由及び願いなど	
3件	愛星 (あいぼし)			池尻新星 (いけじりしんせい)	・ 卒業生やいろんな人達が学校の 名前を忘れてしまわないように	
	下馬 (しもうま)			新尻 (しんじり)	・ 両校の名前をあわせて	
2件	敬心 (けいしん)	・ 人を敬う心が大切、敬う心を持 てる中学生になろう		秋桜 (こすもす)	・ 新星中のシンボルを用いたい	
	駒繫 (こまつなぎ)			新 (しん)	・ 新しくできるから	
	新生池尻 (しんせいいけじり)	・ 新しくできた池尻にある中学校		星尻 (せいじり)	・ 両校の名をとって	
	明快 (めいかい)	・ 明るく快よい生徒になって欲し い		明星 (めいせい)	・ 明るく光る星のようになって欲し いので	
	矢子 (やし)	・ 矢羽の未熟な子ども達を立派な 矢に育てるように		優美 (ゆうび)	・ 上品で美しくなって欲しいから	
	流星 (りゅうせい)	・ 両校のいいところを生かし、最 後まで協力して輝くよう		翼 (つばさ)	・ 鳥の翼のように大空(社会)に羽 ばたいて欲しいので	
	宙 (そら)	・ 空のように大きく、きれいに育 つ中学校、子ども達がのびのびと 育ち、広い世界へ羽ばたいて欲し い		星之(ノ)池 (ほしのいけ)	・ 新星の如く大空に明るく輝いて、 清らかな水池尻より湧きいでる、 新しい前途ある青少年であって欲し い、清く明るく希望の星が生まれる 事を祈る	
1件 ※ 応募名 称のみ	青葉 (あおば)	あけぼの	ある	池尻新 (いけじりしん)	池田 (いけだ)	池西 (いけにし)
	池 (いけ)	オレンジ (おれんじ)	かいせい	革命 (かくめい)	寛大 (かんだい)	きさらぎ
	木鈴 (きすず)	輝星 (きせい)	希望第二 (きぼうだいに)	共栄 (きょうえい)	共生 (きょうせい)	銀河 (ぎんが)
	CLAMP学園 (くらんぷがくえん)	敬愛 (けいあい)	健星 (けんせい)	光輝 (こうき)	紅樹 (こうじゅ)	高せい (こうせい)
	光星 (こうせい)	煌徳 (こうとく)	光鳥	光陽 (こうよう)	駒和 (こまわ)	己論 (こゆ)
	五理 (ごり)	己励 (これい)	今生 (こんせい)	自考 (じこう)	下馬北 (しもうまきた)	正直 (しょうじき)
	昇龍 (しょうりゅう)	招和 (しょうわ)	白鳥 (しらとり)	自律 (じりつ)	尻星 (しりほし)	新華 (しんか)
	新合併 (しんがっぺい)	新咲 (しんさき)	新正 (しんしょう)	新成 (しんせい)	真成 (しんせい)	進誠 (しんせい)
	新世紀 (しんせいき)	新世田谷 (しんせたがや)	新撰 (しんせん)	新花園 (しんはなぞの)	新来 (しんらい)	すすたけ
	静輝 (せいき)	誠実 (せいじつ)	静清 (せいしん)	星水 (せいすい)	晴天 (せいてん)	青年 (せいねん)
	聖ルドルフ (せいりどるふ)	泉朗 (せいらう)	清和 (せいわ)	世田谷中央 (せたがやちゅうおう)	創瑛 (そうえい)	宙美 (そらみ)
	第2 (だいに)	第一 (だいいち)	太子堂二 (たいしどうに)	どんぶり	七星 (ななせ)	日進 (にっしん)
	熱血 (ねっけつ)	信長 (のぶなが)	葉利一 (はり一)	美学 (びがく)	東太子 (ひがしたいし)	光 (ひかり)
	飛立 (ひりつ)	双葉 (ふたば)	不動峯 (ふどうみね)	平和 (へいわ)	美咲 (みさき)	みどりの森 (みどりのもり)
	未来 (みらい)	夢広 (みらい)	明王 (めいおう)	明照 (めいしょう)	明誠 (めいせい)	恵友 (めいゆう)
	めばえ	友光 (ゆうこう)	優勇 (ゆうゆう)	夢友 (ゆめとも)	夢の星 (ゆめのほし)	陽向 (ようこう)
	遥電 (ようでん)	立木 (りゅうぼく)	良命 (りょうめい)	ルドルフ学園 (りどるふがくえん)	れいめい	若草 (わかぐさ)
	若葉 (わかば)	横澤研究所	吉本工業	栄光英知情熱	三谷	新池尻星
	新駒池星	光池	平成星望尻	星命	うめ岡	

新校準備会・各部会の報告

《第1部会》

開催日時 平成14年2月21日(木)午後7時から

会議内容 【新校の校名について】

校名募集集約結果を参考に候補校名の検討を行い、3月28日開催予定の新校準備会を経て、教育委員会へ報告していくことにしました。

《第2部会(標準服検討プロジェクトチーム)》

開催日時 平成14年2月18日(月)午後3時30分から

会議内容 【標準服について】

標準服等に関するアンケート結果をもとに、生活指導主任の先生も加わって意見交換をしました。

《第3部会》

開催日時 平成13年12月20日(木)午後3時から

会議内容 【外構整備プラン(校門周辺から中庭の整備)について】

外構整備プランの実施設計修正案について話し合いました。正門から玄関まで広いスペースを確保して、多目的な利用が可能で、見通しのよい開放感のある空間づくりを行うことになりました。

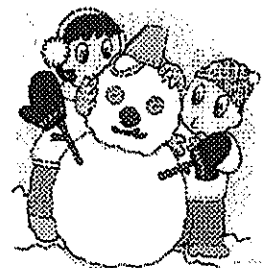
また、平成14・15年度工事となる、給食室増築を含む校舎大規模改修工事の「建築計画のお知らせ」看板の掲出と近隣説明開始について説明がありました。

委員以外の方も参加できます。準備会に参加されたい方は、事前に事務局までご連絡ください。

■ 新校準備会開催のお知らせ

日時 3月28日(木)午後3時から 新星中学校図書室

- 内容
- ・これまでの取り組み(標準服・改修工事等)について
 - ・新校の校名について
 - ・平成14年度両校の教育目標等について
 - ・その他



事務局から

☆ 1月下旬、両中学校の校長先生から、今春、両中学校に入学予定の児童をもつ保護者の皆さんに、統合への不安を解消いただくため、14年度の学校運営や統合に向けた学校での取り組み状況等について説明会を開きました。

☆ 現在、教育課程(授業カリキュラム等)の編成中ですが、両校が同一歩調のもとで学校行事や部活動等についても具体的な検討を重ねています。

☆ 教育委員会では、両学校の計画に基づいて交流推進のための非常勤講師を優先的に配置するなど支援していきます。

学校統合だより 第7号



(14年4月26日発行) No. 1409040

事務局(問い合わせ先) 世田谷区教育委員会事務局学校適正配置担当課
(電話 5432-2745 FAX 5432-3039)

「学校統合だより」は、統合に関する情報等を保護者や地域の皆さんにお知らせするために発行しています。お気軽にご意見を事務局までお寄せください。

「^{そうえい}創瑛中学校」を第1候補として進めます。 ご意見をお寄せください。

今後、新校準備会の名称を「(仮称)創瑛中学校準備会」に改め、取り組んでいきます。

新校名については、公募結果を参考に第1部会(2/21開催)において4つの学校名を選び、「学校統合だより(第6号)」によって、再度、関係者の意見を求めてきました。

3月28日に開催した新校準備会では、第1部会における選考経過の報告を受けるとともに、関係者の意見を踏まえ話し合いました。新たに2つの学校名が追加提案され、「^{みしゆく}三宿中学校」「^{いけのぼし}池ノ星中学校」「^{そうえい}創瑛中学校」「^{へいせい}平成中学校」「^{にしぎ}錦中学校」「^{あかつき}暁中学校」の6案から挙手による投票を行いました。

2度の投票の結果、「公募の結果は参考としつつも、世田谷区立の多くの小・中学校で採用している地名や町名に基づく学校名ではなく、これからの時代を担う生徒たちが夢や希望を持てるような、21世紀にふさわしい新たなイメージを持った校名を」との判断から、「創瑛」を第1候補として取り組むこととしました。

今後は、新校準備会の名称を「(仮称)創瑛中学校準備会」に改めて取り組みを進めていきたいと思いをします。

(仮称) 世田谷区立
^{そうえい}
創瑛中学校

創瑛中学校の「創」には創り出す、「瑛」には玉の光の意があり、新しい時代を担う夢と希望にあふれた個性ある中学校と一人ひとりが光輝く中学生になって欲しいとの願いが込められた名前です。

学校統合だより 第8号



(14年9月6日発行) No 1409040

事務局（問い合わせ先） 世田谷区教育委員会事務局学校適正配置担当課
(電話 5432-2745 FAX 5432-3039)

「学校統合だより」は、統合に関する情報等を保護者や地域の皆さんにお知らせするために発行しています。お気軽にご意見を事務局までお寄せください。

新校の名前を慎重に検討しています。

新校名の第1候補、「創瑛^{そうえい}中学校」に対して、様々な意見が寄せられました。新校の校名・校歌を担当する第1部会からの要請を受けて、7月16日に新校準備会を開催し、再度、新校の校名について話し合いました。

新校準備会では、多くの意見が交わされました。また、卒業生の思いや両校の伝統と歴史を大切にして「池尻新星中学校はどうか。」との提案もありました。しかし、まとめまでには至らず、次回の新校準備会で方向を決めることとし、あわせて新校に期待する学校像（イメージ）についても議論することにしました。

新校準備会は、新星中学校と池尻中学校の統合準備を進めるために設置された会です。校名や校歌、標準服、記念誌の作成など課題ごとに3つの部会に分かれて活動しています。

現在、53名（小・中学校の保護者、町会・自治会、青少年委員、同窓生、校長・教頭など）で構成されています。

なお、前号で約束しました新しい委員名簿は紙面の関係で別の機会に報告させていただきます。

校名についての検討経過 (7/16 新校準備会開催までの経過説明)

- 平成13年12月～14年1月の間に校名を公募したところ、331件の応募があった。
- 第1部会（2月21日開催）における候補校名の絞り込み等、部会の検討状況と応募結果について「学校統合だより第6号」でお知らせした。
- 新校準備会（3月28日開催）では、第1部会からの報告を受け、「創瑛中学校」を第1候補として進めることを確認し、「学校統合だより第7号」でお知らせした。
- 「学校統合だより第7号」を見た方から様々な意見等が事務局や学校に寄せられた。そのことを第1部会（6月20日開催）に報告したところ、様々な議論があり、「第1候補校名で校歌や校章づくりに着手してよしいか、寄せられた反響について部会単独で判断することは難しいことから、もう一度考えたい。」との方向で整理され、近々の新校準備会開催を正副会長に要請し、本日の開催となった。
- 学校の名前は大切に重要な問題と考えている。本日、新校に期待する学校像を含め議論していただきたい。

学校統合だより 第9号



(14年12月6日発行) No. 1409040

事務局（問い合わせ先） 世田谷区教育委員会事務局学校適正配置担当課
(電話 5432-2745 FAX 5432-3039)

〔「学校統合だより」は、統合に関する情報等を保護者や地域の皆さんにお知らせするために発行しています。 お気軽にご意見を事務局までお寄せください。〕

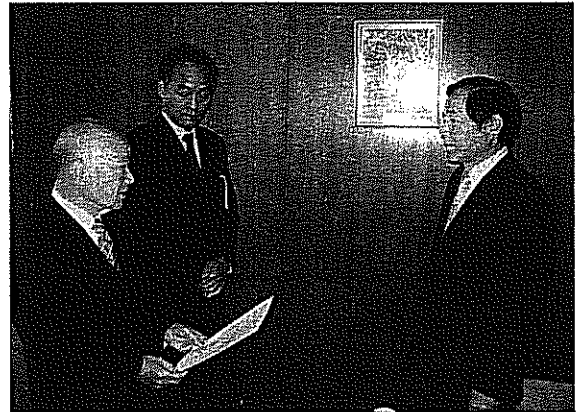
新校名は「三宿中学校」

新校準備会では、今年の3月「創瑛中学校」を新校名の第1候補として進めることを決め、皆さんに提案しました。

この提案に対して、多くの意見が寄せられたことを踏まえ、慎重に検討を続けてきました。「創瑛中学校は特定の団体を連想させないか」「新星や池尻の名を残したい」「新しくできる公立中学校としてふさわしい名前とすべきだ」「決定までのプロセスは大切にすべきである」等様々に話し合われました。

その結果、10月31日に開催した新校準備会において、3月に第1候補とした「創瑛中学校」、そのとき次点であった「三宿中学校」、この間、代案として提案された「池尻新星中学校」について、出席委員による話し合いの結果、「三宿中学校」を新校名として準備を進めることに決定しました。

(詳細、2ページ)



(左から、土橋会長、磯辺副会長、小野教育長)

11月18日、土橋会長と磯辺副会長から教育長に、新校準備会の総意として新校名について「三宿中学校」を提案する旨の話し合いの結果を報告しました。

教育長からは「多くの方が学校に関心を寄せ、心をひとつに学校づくりが進んでいる様子は頼もしい限り、審議結果は尊重していきたい」また、「子ども達が将来に夢と希望を持てるような魅力ある学校づくりを進めていきたい」との発言がありました。

審議結果は、11月25日開催の教育委員会に報告されました。新校の名称など新校の設置に関する議決の手続きは、平成15年度に行う予定です。

第2回大明小学校・池袋第五小学校統合推進協議会 会議録要旨より抜粋

(略)

会長

次に、校名について協議する。その前に前回の確認をする。この統合計画については、想定外の事情が生じない限り、計画どおり進めることを確認したので、今後は統合計画を前提に協議していく。

では、校名の決め方の前例について事務局から報告をお願いする。

事務局

豊島区の統合新校の校名検討について報告する。

1．平和小学校・要町小学校統合(平成11年4月) 要小学校

協議会構成団体から校名5候補以内で提案、提案された校名案を協議会で協議、決定した。

2．高田中学校・雑司谷中学校統合(平成11年4月) 千登世橋中学校

協議会構成団体でアンケートをとり、校名10候補以内で提案、提案された校名案を協議会で協議、決定した。

3．高田小学校・雑司谷小学校・日出小学校の統合(平成13年4月) 南池袋小学校

吸収統合の誤解を避けるため、旧校名は使用しない前提とし、協議会構成団体でアンケートをとり、校名5候補以内で提案、提案された校名案を協議会で協議、決定した。

4．大塚中学校・朝日中学校統合(平成13年4月) 巣鴨北中学校

対等統合の考えから旧校名、両校の校名を連結したもの、個人名・特定の団体名・意味のはっきりしないもの、カタカナ・ひらがなは使用しない。その上で、協議会構成団体でアンケートをとり、校名5候補以内で提案、提案された校名案を協議会で協議、決定した。

5．千川小学校・大成小学校統合(平成14年4月) さくら小学校

旧校名は使用しない前提とし、協議会構成団体でアンケートをとり、校名5候補以内で提案、提案された校名案を協議会で協議、決定した。

6．時習小学校・大塚台小学校統合(平成15年4月) 朋有小学校

時習・大塚台小学校の両校長に校名候補案の選定を依頼した11候補と委員提案の5候補について校名案を協議会で協議、決定した。

7．長崎中学校・第十中学校・千早中学校統合(平成16年4月) 明豊中学校

旧校名は使用しない前提とし、協議会構成団体でアンケートをとり、校名5候補以内で提案、提案された校名案と3中学校の生徒・保護者からも募集し、その全てについて協議会で協議、決定した。

他区統合新校の校名の状況については、新しい名称、旧校の名称を合体した名称、片方の旧校名をそのまま残した名称(吸収統合の場合が多い)などがある。豊島区の場合は、時習・大塚台小学校の統合の場合を除いて、各団体から持ち寄った校名の提案を協議会の場で協議し、決定する方法が多い。

会長

では、本協議会の校名の選定方法について決めていきたい。豊島区の前例では、7事例あったようだが、各委員から校名案を持ち寄り、それを協議会で検討し、決定していった例が多かったようだが、本協議会では、どのようにするか。

委員

私の方は団体なので、いくらか校名案を考えている。団体として提案したい。

委員

方法論で言えば、各委員からメモでもよいので、理由を付していくつか候補を上げてもらい、議論していく方法が良いのではないか。

委員

校名を決めるにあたってのルールがあるのか。決められた時間内で決めていかなければならぬので、教育委員会としてやめて欲しい校名があれば口頭でも言ってもらいたい。

事務局

今までの統合協議会の中では、カタカナ、ひらがなは止めるという所もあったが、さくら小学校という校名もあるので、協議会の場で決めてもらって良いと考えている。使ってはいけないような言葉もあると思うが、基本的には協議会の場で決めてもらうことだと考える。

委員

段取りとして、協議会の場だけできめるのか、それともここで決めたことを持ち帰ってから決めてもよいのか。また、校名決定は、日程的にいつまでに決めなくてはいけないのか。日程的に余裕があれば、ゆっくり考えて決めればよいが、急いで決めなくてはならないのであればそのように考えなくてはならないと思う。

会長

次回協議会の7月16日に持ち寄ってもらいたいと思う。校名も広く関係者から意見を聞いて決めていきたいと考えている。

事務局

校名については、協議会の方で決めて、提案してもらったものを教育委員会で決定するということになる。最終的には、来年4月の教育委員会で決定できれば、条例改正ということで6月の議会に議案提出ということになる。協議会の方では、15年度末までに校名を決定してもらえればよい。

委員

各団体でアンケートを取るなり、役員が決めるなりして、各団体毎に校名候補を出してもらってから協議会が決めた方がよい。

委員

学校で公募した場合どのような方法をとるのか。過去にそのようなケースがあれば、聞きたい。

事務局

今までのケースでは、PTA が中心になってアンケートをとるとか、チラシを配付するなどしている。今までは、多くて30程度の提案である。今まで各団体5点程度としているが、提案された校名については、全て一覧にして協議会の資料として提示し、協議会で審議してもらっている。

委員

対外的にも通る校名がよい。例えば池袋はどうか。

会長

校名については、各団体から提案、各団体が絞り込んで提案、PTA が保護者、児童から公募する等でたが、他に意見はないか。校名選出の方法を決めたい。

委員

地域に根ざしたという意見がでたが、池袋第五小学校のあたりは、どのような地域なのかと考える。地域環境を視野にいれてネーミングを考えるイメージができる。大明小学や離れた地域の人のために学校見学やその周りの地域の見学ができると良い。見学後の方がイメージしやすい。

会長

見学者は、どなたか。

委員

大明小学校の卒業者や大明地域の見学希望者。

委員

大明・池袋第五小学校の保護者、生徒にもアンケートをとるべきだと思う。

委員

校名候補をあげるにあたって、旧校名は候補にあげないとか、決めたらどうか。

会長

両校対等な立場で統合するので、旧校名は候補にあげないということではいかがか。
保護者と児童からアンケートをとるということではいかがか。

- 委員賛同 -

委員

地域に愛される統合新校であって欲しいので、いろんな地域の人から意見をもらった方が良い。学校でいえば、保護者と児童で考えて各家庭1枚のアンケートというのが望ましいと思う。

委員

各PTA に関して言えば、一任してもらった方がよい。

会長

各団体から候補をあげてもらおうということで、町会1団体、青少年育成委員会1団体、PTA 2団体、同窓会2団体、計6団体とすることでいかがか。

- 委員賛同 -

事務局

アンケートについては、各団体に送るので、枚数を申し出てもらいたい。但し、学校については、児童数を学校に送る。各団体5候補に絞り込んでもらい、6月末までに事務局に提出願いたい。それを次回協議会に資料として提示する。

会長

5候補に絞り込んで、6月末にまでに事務局に提出してもらいたい。

委員

ひらがな、カタカナを使用しない等決めなくて良いのか。

委員

民主主義の国なので、枠は決めないで、出てきたものを審議するというでよい。

委員

池袋第五小学校の見学という意見がでたが、6月の参観週間に見学してもらおうということをお願いしたい。

委員

池袋第五小学校の見学については、両校の保護者・児童向けアンケートの説明に“校名検討の一助として”として参観週間を明記してもらえばよい。

委員

池袋第五大明みたいな校名や長いのは、やめて欲しい。

事務局

各団体の代表の方は、アンケートの枚数を事務局に申し出てもらいたい。

会長

今回は、7月16日午後7時から同会場ということをお願いする。長時間おつかれさまでした。

以上

会議の結果

【校名の選出方法等について】

1. 大明・池袋第五は使用しない。
2. 新しい校名を提案する。
3. 文字の制限はしない。
4. PTA は、保護者・児童からアンケートをとる。1家庭1枚のアンケートに回答する。
5. 大明小学校の地域、保護者、児童は、希望があれば、池袋第五小学校の5・6月の参観週間に見学をすることができる。
6. 各団体毎にアンケートをとり、校名候補を5つを上限に絞り込み、6月末までに事務局に提出する。
7. 団体数は、6団体とし、町会1、育成委員会1、PTA2、同窓会2団体とする。

第3回大明小学校・池袋第五小学校統合推進協議会 会議録要旨より抜粋

議事

会長

(中略)

それでは校名について協議する。前回、校名案の選定方法として、校名案を各団体ごとに5候補程度持ち寄り、協議することになっている。各団体から提案されたものが資料としてまとめられているので、事務局から説明をお願いします。

事務局

資料1「新校名候補団体別一覧」を説明。

会長

では、本協議会で校名候補の選定を行っていきませんが、団体として追加説明があればお願いします。

特にないようですので、それでは次に出された校名候補について、どのように検討・絞り込みを行うか。

委員

各団体どこからも選ばれている校名の中から選ぶのが順当ではないか。

会長

今、委員から「池袋」という校名案が多いが、「池袋」でいかがかという提案があったが、どうか。

委員

今の提案に賛成だが、平仮名の「いけぶくろ」という候補もあがっているので、どちらをとるか協議したらどうか。

会長

只今のご意見についてどうか。

委員

各団体から候補案の一覧が出されているので、改めて募集経過・提案理由の説明を受けたい。

会長

それでは、改めて各団体から提案にいたる経過・思いについて説明をお願いしたい。

委員

私どもは、明光 のぞみ 池袋 平成 緑の順で、の「明光」にはどこか「大明」の「明」の思いが入っている。

委員

私どもは、学校を通して公募し、47人から24種類の応募を受け、多いものから 池袋 椎の木 池袋中央 そよかぜ あぜりあの5つを選んだ。一番多かったのが「池袋」。

「池袋第五」ということから「池袋」だかどうかという意見もあったが、児童の大多数の居住

が池袋一丁目から四丁目まであり、「池袋」は全国区で、良い悪いも含め有名であり、かつ区内でも「目白」「駒込」「巣鴨」など地名のついた学校があるので、一番無難でよいのではないかと。

委員

私どもは、いけぶくろ 池袋 つばさ 池袋つばさ 翼の5つを選んだ。「池袋」にはこわいというイメージがあるので、やさしさを強調する意味からが平仮名の「いけぶくろ」があがった。「つばさ」は統合により胴体ができ、将来・未来にはばたくことを願って出されている。

委員

私どもは、40歳から80歳過ぎまでの幅広い層から150の応募を得た。池袋 豊島中央 五大は60代以上の方の意見が多かった。みどりは60代以下の方の応募が多かった。

委員

私どもは、池袋 平成池袋 豊永の3つを選んだ。大多数は「池袋」であった。

委員

私どもは、応募数が2となっているが、応募用紙に書いて出したのが2名ということで、運営委員会の場での話し合いでは「池袋」が一番多く、他に「翠」という意見もあったので2つ提案した。

会長

今、各団体の代表から、候補案の募集経過・提案理由の説明があった。それではどのように絞り込みを行うか。

委員

両校の校長先生に意見を出してもらい、判断の参考としたい。

委員

個人として、「池袋」という校名案は出るべくして出たという思いでいる。最近の傾向として、「つばさ」のように平仮名の校名がつくようになってきているので参考になるとの思いでいる。個人としては、この場で決まった校名でよいと考えている。

委員

地域の皆様が決めたものが素晴らしい校名だと考える。

委員

各団体から出ている候補案の順位構成の割合はどうなっているか。

委員

私どもの候補案の構成は、「池袋」が40%、「池明」と「五大」とで30%、その他が30%という構成。

委員

私どもの候補案も多い順に出している。「池袋」が圧倒的に多かった。

委員

私どもは応募数18人で、16種類ということからも分かるように色々な意見があり、横並びということだが、役員の意向も踏まえ、多い順に出した。

委員

私どもの場合、応募状況からは半々となるが、役員会での意見は圧倒的に「池袋」が多かった。

委員

私どもも応募数16人で13種類ということで意見が分かれているが、これは応募した状況で、何らかの形で「池袋」とつく校名が多かった。

委員

「池袋」のつく小学校として、「池袋第一」「池袋第二」などあるが、「池袋」という校名で行政は問題ないのか。

事務局

特に問題はない。他区にも例はある。

会長

色々と言見をお聞きしたが、どのように絞込みを行うか。

委員

冒頭にも意見があったが、色々意見がある中で、各団体から「池袋」という校名案がでてくる。その中から選ばれるのであれば問題はないのではないかと議論を尽くして他に出てこなければ「池袋」ということでいいのではないかと。

委員

1人1人から意見を出してもらえば、絞り込めるのではないかと。

会長

それでは、出されている候補名について、委員1人1人から意見をいただくこととする。

委員

「池袋」が一番丸く収まると思う。

委員

子どもたちが書きやすい校名がいいと思うが、地名であり漢字の「池袋」でよい。

委員

「池袋」でよいが、平仮名の「いけぶくろ」もかわいくてよいのでは。

委員

各団体から出ているので「池袋」でよい。

委員

「池袋」でよいと思う。平仮名がやさしい感じで捨てがたい。

委員

全部の団体から出ている「池袋」でよい。平仮名より漢字の方がよい。

委員

地域で決めていただければよい。

委員

漢字の「池袋」もいいが、まったく新しい意味で平仮名も明るくて、さわやかでいいのでは。

委員

統合新校は地域に愛される学校であってほしいと考えますので、地域の方々、保護者の方々の多いご意見でよいと考えている。新校に相応しい校名を付けていただければよい。

委員

私どもの団体が推薦する「池袋」であれば問題ない。

委員

団体の推薦内訳を改めて紹介する。「池袋」60人40%、「豊島中央」18人12%、「池明」8人5%、「五大」「みどり」各6人4%で、その他「池袋」というのが複数あった。

委員

「池袋」そのものに問題ないが、「池袋」と下に何かつけた方がいいと思う。

委員

「池袋」で問題はないと思う。

委員

「池袋」そのものに問題ないが、「池袋」だけだと寂しい感じがする。「池袋」と下に何かつけた方が池袋の固さがとれて、やわらかくなると思う。

委員

私は「翠」を提案した。学校名であり、あまり優しい難しいということにこだわる必要はない。それよりきちとした意味のある名前の方がよい。

委員

大多数が支持しているということであり、「池袋」でよい。「池袋」と下に何か付けると、それを決めるのがまた難しくなる。生まれ育った池袋という地域に愛着を持ってもらうという意味からも「池袋」に決めたい。

委員

各委員の意見、推薦理由からも「池袋」でよい。

委員

地域の名前への思い入れ、何処にある学校かということがすぐ分かるということからも「池袋」でよい。

会 長

1人1人からご意見をいただきました。「池袋」が圧倒的な支持を得ていますが、取扱いは如何いたしましょうか。できれば本日決めたいと思います。特に異存がなければ、挙手により確認したい。

校名を「池袋」とすることについて挙手により確認。

出席委員26人中(早退1人)区側委員4人を除く18人が挙手。

会 長

挙手、多数につき、新校名は「池袋」と決めさせていただきます。ありがとうございました。

次に、統合新校となります「池袋第五小学校の改修内容」について報告願います。

(以下省略)

統合地域協議会 （千住中央）にゆーす

発行：千住中央地区統合地域協議会

このお知らせは、千住地域の学校統廃合に係わる内容（統合協議会の協議内容等）を、千住地域の住民の皆様にお知らせするために発行しています。定期的に発行し、統廃合について話合われている統合地域協議会での主な協議内容をお知らせしてまいります。

協議会の役割

統合新校設置に向け必要な事項を協議し、教育委員会に提言することを役割とし、教育委員会はこれを尊重して実施していきます。また、地域の皆さんと行政をつなぐパイプ役としての役割も果たしていきます。

協議会では

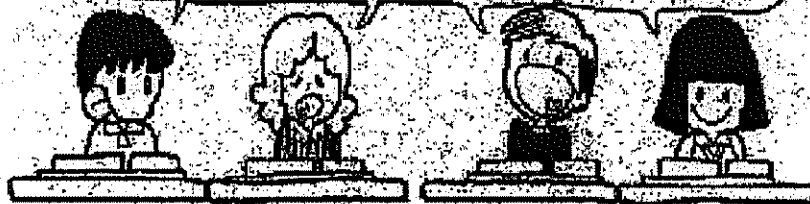
現在、統合地域協議会では、統合新校の名称および校舎のリニューアルについて話し合われています。また、両校の先生による教職員連絡会で話合われた統合新校づくりに向けての内容についても随時報告されています。なお、第一中学校の改築を契機に、小、中連携教育を視野に入れた改築と、教育プランを考えて見てはどうかとの提案があり、今後、協議していくこととしました。

教育委員会から、平成17年に開校を予定している第一中学校の改築にあたり当初、旧千寿第六小学校跡地にプレハブの仮設校舎を設置する予定でしたが、地域等からの要望に基づき検討を重ねた結果、統合後の千寿小学校の校舎を第一中学校改築時の仮設校舎として平成15・16年の2カ年利用していくことが決定されたと報告されました。

統合新校名は

新校名については、該当校関係者及び地域全般に募集を行うこととなりました。また、この統合地域協議会にゆーすの4ページが募集用紙になっています。ぜひ皆さんご応募ください。詳細につきましては応募用紙をご覧ください。

学校が変わります。21世紀の学校教育



リニューアル

リニューアルの原案として、統合新校の校舎となる千寿第二小学校の校長先生からリニューアル内容について要望を出していただきました。その後、その要望を参考に協議会のメンバーが、校内視察（リニューアル箇所）を行ない率直な意見交換をしました。以下が主な意見です。

- 特別教室等に冷房設備を設置してほしい。
 - 臭いの少ないきれいなトイレに造り直してほしい。
 - 廊下・教室の床を張り替えてほしい。
 - 体育館、プールの改築をしてほしい。
 - 福祉施設等の併設はできないか。また、誰でもが気軽に立ち寄れる雰囲気のある学校づくりを進めていきたい。
 - リニューアルについては地域の要望もできるだけ反映してほしい。等の様々な意見が出されました。
- リニューアル内容については、次回以降の協議会でも引き続き話し合っていくことになりました。

※ 平成14年に予定していた、千寿第二小学校のリニューアル工事を一部前倒しして、今年の夏休みに工事を予定しています。

新しい学校教育のモデル事業

千住地域の小・中学校で今年度より新しい学校教育のモデル事業を展開しています。内容は次のとおりです。

特別講師制度

調査研究校として第三中学校に数学の特別講師を1名、第十五中学校に英・数・国の3名を配置しました。

小学校スクールカウンセラー制度

平成14年度に統廃合する千寿小、千寿第二小、千寿第四小、柳原小の4校に専門の相談員を毎週一回派遣しています。

統合新校補助金

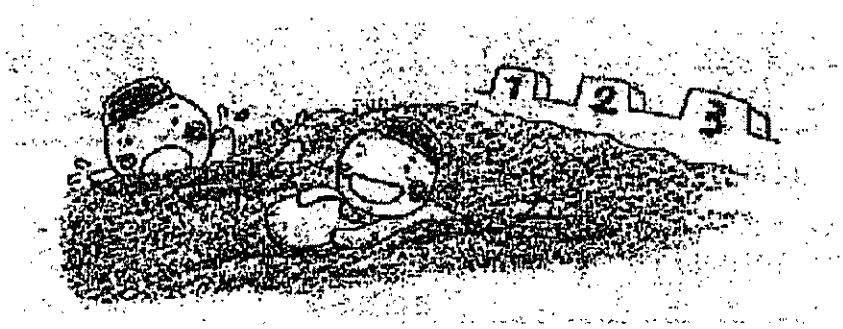
平成14・15年度の統廃合対象校(千寿小、千寿第二小、千寿第四小、柳原小、第三中、第十五中)に統合新校補助金を交付していきます。

統合教職員連絡会

4月11日に千寿第二小学校で「千寿小学校」と「千寿第二小学校」の第一回統合教職員連絡会が開催され、平成14年度の年間スケジュール、学校間の児童交流、統合新校の教育計画を今年度中に決定していく等の内容が確認されました。

☆ 新校に向けて「こんな学校にしたい」 ※ 千寿小・千寿第二小の教職員の声（一部抜粋）

- 子どもたちの笑顔が輝き、笑い声のあふれる学校
 - 一人の子を全職員が見守り・励まし・叱れる学校
 - 子どものことを語り合い、子どものために汗を流すことをおしまない学校
 - 特色のある学校（研究・運動・音楽などが盛んな学校）
 - 地域に開かれた学校
 - 両校の子がすぐうち解け、保護者も地域も協力したくなる学校
- 等の意見が出し合われました。



その他

- 新聞、広報、説明会等でご存知とは思いますが、第三中学校と第十五中の統合年次を当初の予定の平成17年4月から2年前倒しし、平成15年4月に行う事としました。すでに、統合地域協議会で統合に向けて、校名、リニューアル等について協議を進めていく準備を進めています。
- 統廃合による千寿小学校の学区変更に伴い、千寿本町小学校の教室を一部夏休み中に改修します。
- 柳原小学校の統廃合に伴い、学校内にある学童保育室を千寿第四小学校内に設置することとし、その準備が進められています。
- 千寿小学校の保護者・児童を対象に、千寿第二小学校と千寿本町小学校の学校見学会を行うこととしました。

千住中央地区統合地域協議会委員名簿

千住中央地区統合地域協議会は、下記の委員で構成されており、千寿小学校と千寿第二小学校の統廃合、第一中学校の改築について協議を行っています。学校統廃合についてご要望のある方は、下記の委員にご相談ください。

H13.5 現在 (敬省略)

役員名	氏名	役職名	氏名
千寿小学校PTA前会長		体育指導委員	
千寿小学校PTA会長		千住関屋町町会会長	
千寿小学校PTA副会長		グリーンコーポ千寿自治会会長	
千寿本町小学校PTA顧問		関屋42団地自治会会長	
千寿本町小学校PTA会長		千住橋戸町自治会会長	
千寿本町小学校PTA副会長		千住河原町自治会会長 (会長)	
千寿第二小学校PTA顧問		千住仲町町会会長	
千寿第二小学校PTA前会長		千住緑町町会会長	
千寿第二小学校PTA会長		千住一丁目町会会長	
千寿第八小学校PTA会長		千住二丁目町会会長	
千寿第八小学校PTA副会長		千住三丁目町会会長	
千寿第八小学校PTA会計監査		千住四丁目町会会長	
第一中学校PTA前会長		千住五丁目町会会長	
第一中学校PTA副会長		フラッツ北千住自治会会長	
第一中学校PTA副会長		千寿小学校長	
青少年委員		千寿本町小学校長	
青少年委員		千寿第二小学校長	
青少年委員(幹事長)		千寿第八小学校長	
青少年委員		第一中学校長	
体育指導委員			

事務局：足立区教育委員会事務局適正配置担当課

統合新校名 募集

千寿小学校と千寿第二小学校の統合新校名を募集します。

- 校名を決めるため、広く児童、保護者、地域の方からこの「統合地域協議会にゆーす」で募集します。
- 集まった校名は集計をし、その結果を参考として協議会で検討します。
- 募集期間は、原則として平成13年5月 日から 日とします。

統合新校校名

小学校

コメント

学校用(児童・保護者の方はこちらにご記入ください)

学 校 名	小・中学校	
学年クラス	年 組	児童生徒・保護者
氏 名		

地域用(一般の方はこちらにご記入ください)

住 所	〒 足立区	
氏 名		電話 ()

(提出先)千寿小学校、千寿第二小学校、千寿本町小学校、千寿第八小学校
第一中学校、千住区民事務所
FAXよる応募 03(3888)5447(千寿小学校)
FAXよる応募 03(3888)8362(千寿第二小学校)

統合地域協議会 （千住中央）にゆーす

発行：千住中央地区統合地域協議会

このお知らせは、千住地域の学校統廃合に係わる内容（統合協議会の協議内容等）を、千住地域の住民の皆様にお知らせするために発行しています。

統合新校の校名の候補が決定

かねてより協議会で検討していた、「千寿小学校」と「千寿第二小学校」の統合新校の校名を、学校関係者、児童生徒、地域住民の方に募集したところ、361通の応募があり、大方が「千寿小学校」でした。これを受け、統合地域協議会でも歴史ある「千寿小学校」の校名は、ぜひ残すべきであるといった意見が、圧倒的多数を占め、「千寿小学校」を統合新校の校名として提案することとしました。

この提案を受け、8月7日開催の足立区教育委員会定例会において、「足立区立学校設置条例の一部を改正する条例の進達」として審議されました。その結果、「各統合地域協議会及び統合地域連絡会の協議内容を尊重する」との意見で一致し、次のとおり可決されました。今後は、9月に開かれる定例議会で審議される予定です。

千寿小学校と千寿第二小学校の統合新校の校名 千寿小学校（せんじゅしょうがっこう）

◎校名の応募結果（トップ10）みなさんから応募のあった校名の結果については次のとおりです。
たくさんのご応募ありがとうございました。

1	千寿小学校	111通	6	新千寿小学校	9通
2	千寿宮元小学校	15通	7	千寿大橋小学校	6通
3	千寿緑小学校	13通	7	千寿中央小学校	6通
4	足立千寿小学校	12通	7	足立小学校	6通
5	寿（ことぶき）小学校	10通	10	ひまわり小学校	5通

以下、みどり、千寿若葉、千寿第二、あおぞら、げんき、せんじゅなかよし、千寿光、千寿寿（ことぶき）、千住、未来等の名称も4通から3通の応募がありました。

これからの話し合い

統合地域協議会では、今後、校章および校歌について話し合いを進めてまいります。また、第一中学校の改築についても、基本構想の提示をした上で、施設への意見・要望等を取りまとめてまいります。

リニューアル

リニューアル工事の内容については、協議会の確認に基づき両校と教育委員会で協議を重ね、平成14年、15年、16年に行う工事内容について、検討を進めています。内容が決まりしだい随時「協議会にゆーす」でお知らせしていきます。

平成13年度に行うリニューアルの前倒し工事

◎現在、次の箇所の改修工事を、夏休みを利用して行っています。

図工室・・間仕切り壁の撤去による教室の拡張、床の全面張り替え、流し場の移設、壁紙の張替え

音楽室・・防音扉の設置、床の全面張り替え、壁の吸音設備の設置

相談室・・相談室の新設（内装の改修、空調設備の設置等）

普通教室・・第二図工室を普通教室に改修（床の全面張り替え、内装の改修等）

統合教職員連絡会

6月29日に千寿第二小学校で第三回統合教職員連絡会が、全体会と分科会の2部構成で開催されました。全体会では、子どもたちの両校の交流が盛んに行われてきている事の確認と、2年生のヤゴ取り、千寿小学校の屋上プール見学会、5年生が夏休みに行く鋸南臨海学園等の具体的な内容の確認が行われました。その他にもいままでの交流実績及び今後行われる交流等の予定についても協議がされました。分科会では、「教務」「生活指導」「特別活動」の三つに分れ、具体的内容について、話し合いを行いました。

千住中央地区以外の統合新校の名称

千住中央地区以外の統合新校の名称については次のとおり決定しました。

	千寿第四小学校と 柳原小学校	第二中学校と 第十六中学校	第三中学校と 第十五中学校
新校名応募総数	205通	105通	194通
協議会から教育委員会に 提案された校名	千寿常東小学校 常東小学校 若葉小学校	千寿桜堤中学校 常東中学校 千寿堤中学校 桜堤中学校 千寿希望中学校（のぞみ）	千寿青葉中学校 千寿西森中学校 （にしのもり） 千寿光中学校
教育委員会が決定した 統合新校の校名候補	千寿常東小学校 （せんじゅじょうとう）	千寿桜堤中学校 （せんじゅさくらづつみ）	千寿青葉中学校 （せんじゅあおば）

他の地区についても中央地区同様9月に開催される定例議会に「足立区立学校設置条例の一部を改正する条例」として校名の進達を行います。

「千寿」の名称の由来（足立史談、足立風土記より）

室町幕府の八代将軍、足利義政の妻の一人に「千寿の前」という人がおり、その人の出生地であったことから「千寿」と呼ぶようになったと言う説がある。この他にも千手観音や千葉氏一族が住んでいた千葉住村と称し、のちに千住村に改められたという説もある。

また、学校名については、明治7年3月、現千寿小学校の前身といえる「私立千寿学校」が設立された。その後設立された千住地区の学校には「千寿」の文字が使われるようになったとされている。